

第75回 指定都市学校保健協議会開催要項

1. 趣 旨

生涯を通じて健康でたくましく生きる児童生徒を育成するため、指定都市学校保健関係者が、当面する健康・安全の諸課題を研究協議し、学校保健の進展を図る。

2. 主 催 第75回指定都市学校保健協議会実行委員会
(札幌市学校保健会、札幌市教育委員会)

3. 共 催 公益財団法人 日本学校保健会

4. 後 援 文部科学省

5. 日 時 令和6年7月28日(日) 9:00～16:30

6. 会 場 札幌ガーデンパレス
札幌市中央区北1条西6丁目 TEL: 011-261-5311
<全 体 会> 【仮: 2階 丹頂・白鳥】
<課題別協議会> 第1分科会(健康教育)【仮: 2階 孔雀】
第2分科会(保健管理)【仮: 4階 平安】
第3分科会(心の教育)【仮: 4階 真珠】
第4分科会(地域保健)【仮: 4階 高砂】

7. 協議主題

『社会の在り方が大きく変化するこれからの生活の中で
児童生徒自らが健康を創りだす実践力を育む学校保健の推進』

【主題設定の理由】

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、児童生徒の心身の健康に大きな影響を与えている。特に新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活や学校生活の中で大きな制限を受け、その中を過ごしてきた児童生徒の姿を見ると、多様な課題が生じている。コロナ禍前から生じていた、肥満・痩身、生活習慣の乱れ、アレルギー疾患の増加に加え、制限のある生活の中から生まれた、口腔や眼の疾病の増加、メンタルヘルスの問題、対人コミュニケーションによる心の病などがより多く見られるようになっている。また、学校安全面においては、地球温暖化の影響による豪雨や台風を始めとする自然災害の他、登下校中も含めた事件・事故、加えてSNS等の利用による犯罪、Jアラートが発出されるような事態など、児童生徒を安全な生活を脅かす様々な事案が、次々と顕在化している現在である。

これらの健康課題や安全面での課題に適切に対処し、児童生徒が生涯にわたって自らの健康を考え、創りだしていく姿が求められる。自分の健康に関心をもち、仲間と共に課題解決に向けて、主体的に行動できる資質や能力を身に付けさせることも大切である。そのためには、学校・家庭・地域が連携し、全体で協働的に取り組むことが重要である。そこで、本協議会では、各都市での各々の専門的な立場からの実践発表をもとに参加者による意見交換を通して、児童生徒が大きく変化する社会の中でも健康で逞しく生きる力を育むため、学校保健活動のさらなる推進を目指すものとする。

8. 課題別協議主題

第1分科会【健康教育】

「児童生徒が自らの健康に関心をもち、主体的に健康の保持増進に取り組む能力を育成する健康教育の在り方」

第2分科会【保健管理】

「児童生徒の健康の保持増進を目的として学校・家庭・関係諸機関が連携を図った保健管理の在り方」

第3分科会【心の健康】

「児童生徒の豊かな心を育てるための教育活動と支援の在り方」

第4分科会【地域保健】

「健やかな児童生徒の育成を目的とした学校・家庭・地域の効果的な連携の在り方」

9. 日程・内容

時 刻	実 施 項 目
9:00 ~ 9:30	受 付
9:00 ~ 10:00	課題別協議会運営者会議
9:30 ~ 10:00	開 会 式
10:00 ~ 10:05	休 憩
10:05 ~ 10:25	全体協議会
10:25 ~ 10:45	休 憩
10:45 ~ 11:45	記 念 講 演
11:45 ~ 13:00	昼 食
13:00 ~ 16:25	課題別協議会
16:25 ~ 16:30	閉会式（各分科会会場にて）

10. 参加者及び参加費

- 1) 参加者 指定都市の学校保健関係者
- 2) 参加費 参加者が1名につき3,000円
- 3) 人数制限 他政令指定都市、本市ともに制限はありません。
- 4) 本大会開催に伴う、宿泊場所の斡旋・取りまとめ等はいりませんので、あらかじめご了承ください。参加される各個人にてお願いいたします。

11. お 申 込

別紙「第75回指定都市学校保健協議会の参加申込及び振込について」をご参照いただきGoogleフォームまたはFaxにて、必要事項をご入力いただき、お申込をお願いいたします。

12. 札幌市学校保健会HPへの掲載について

札幌市学校保健会HPに「第75回指定都市学校保健協議会」の Kategorie を開設しました。今後は、必要な情報をこちらに掲載する予定です。ご覧ください。

13. 事務局

第75回指定都市学校保健協議会実行委員会事務局

〒004-0864 札幌市清田区北野4条5丁目4-80

札幌市立北野台小学校 校長 堀江 仁

電話：011-882-5281 FAX：011-882-2792

E-mail：hoken-jimukyoku@city.sapporo.jp

第 75 回指定都市学校保健協議会次第

開催日 令和 6 年 7 月 28 日 (日)

受付 9 : 00 ~ 9 : 30

1. 課題別協議会運営者会議 (9 : 00 ~ 10 : 00) 各課題別協議会の会場にて

2. 開会式 (9 : 30 ~ 10 : 00)

- (1) 開会の辞 札幌市学校保健会副会長
- (2) 国歌斉唱 ※CDを流す
- (3) 開催市挨拶 札幌市長
- (4) 主催者挨拶 札幌市学校保健会会長
札幌市教育委員会教育長
- (5) 来賓祝辞 公益財団法人日本学校保健会会長 (未定)
文部科学省 (未定)
- (6) 閉会の辞 札幌市学校保健会副会長

3. 全体協議 (10 : 05 ~ 10 : 25)

- (1) 第 74 回 協議会事後処理について 福岡市
- (2) 第 75 回 協議会運営方法について 札幌市
- (3) 次期開催都市の決定・挨拶 仙台市

4. 記念講演 (10 : 45 ~ 11 : 45)

演 題 「 笑いの力～ホスピタル・クラウンの現場から～ 」

講 師 大棟 耕介 氏 (NPO 日本ホスピタル・クラウン協会 理事長)

[昼 食 11 : 45 ~ 13 : 00]

5. 課題別協議会 (13 : 00 ~ 16 : 25)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| ①協議題説明・課題別協議担当者紹介 | 13 : 00~13 : 05 |
| ②口頭提言及び質疑応答・研究協議 (30分×3名) | 13 : 05~14 : 35 |
| ③休 憩 (15分) | 14 : 35~14 : 50 |
| ④口頭提言及び質疑応答・研究協議 (30分×2名) | 14 : 50~15 : 50 |
| ⑤助言者による指導・講評 | 15 : 50~16 : 20 |
| ⑥まとめ (司会) | 16 : 20~16 : 25 |

6. 閉会式 (16 : 25 ~ 16 : 30) 各課題別協議会の会場にて

第1分科会【健康教育】

協議題	児童生徒が主体的に自らの健康の保持増進に取り組む健康教育		
主旨	児童生徒が自らの健康に関心をもち、主体的に健康の保持増進に取り組む能力を育成する健康教育の在り方について協議する。		
協議の視点	○健康課題を解決するために主体的・実践的に取り組む力を育てる 健康教育について ○学校・家庭・地域及び関係諸機関との連携による効果的な健康教育について		
指導助言者	北田 雅子（札幌学院大学 人文学部 子ども発達学科 教授）		
運営責任者	佐々木 豊文（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市立学校 校長（予定）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	児童保健委員会の活動と教職員で連携して進める 健康教育の実践～学校から家庭、コミュニティへの発信～	浜松市中ノ町小学校 養護教諭 大石 育与
	NO.2	学校健診を活用した受診勧奨 ～静岡市の取組について～	静岡市静岡医師会 学校医園医委員会 大久保由美子
	NO.3	「生きる力を育む歯・口の健康づくり」 ～からだの元気は口から 健康は健口から～	大阪市立横堤小学校 養護教諭 米田 美絵子
	NO.4	中学生のネット依存に関する効果的な予防教育を探る ～ネット依存レベルとセルフコントロール力の関連性から～	千葉市立高洲中学校 養護教諭 板垣 友香
	NO.5	成長・命の大切さを伝える保健教育 ～震災後の心と体のケアの取組～	仙台市立岡田小学校 養護教諭 草木 早紀

第2分科会【保健管理】

協議題	児童生徒の健康の保持増進を図るため組織的に連携する保健管理		
主旨	児童生徒の健康の保持増進を目的として学校・家庭・関係諸機関が 連携を図った保健管理の在り方について協議する。		
協議の視点	○児童生徒の健康課題解決に向けた組織的な対応について ○効果的な健康診断や望ましい食生活の実践に向けた取組について		
指導助言者	佐藤 洋子（北海道文教大学 医療保健科学部 看護学科 教授）		
運営責任者	大宮 健一（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市立学校 校長（予定）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	成長曲線を用いた学校健診では、学校現場・ 教育委員会と医療機関の連携が不可欠である	新潟市民病院小児科 学校医 阿部 裕樹
	NO.2	「命の授業」を通して見えてきたもの	堺市立三宝小学校 保健主事 大阿見 和来
	NO.3	保健室での実態把握を基にした 「つながる」保健管理 ～目の健康を守る活動を例に～	名古屋市立老松小学校 養護教諭 照井 幸代
	NO.4	やさしく・強く・しなやかに いずみっこを育む 包括的性教育	神戸市立泉台小学校 教諭 池内 聡史 教諭 坂井 貴哉 養護教諭 北野 智美
	NO.5	自己の未来を切り拓く勝馬っ子の育成 ～よく動き、よく遊び、元気いっぱいプロジェクト～	福岡市勝馬小学校 養護教諭 田中 実乃里

第3分科会【心の健康】

協議題	児童生徒の豊かな心を育てるための組織体制や支援の在り方		
主旨	児童生徒の豊かな心を育てるための教育活動と健康課題に対する支援の在り方について協議する。		
協議の視点	○児童生徒の心の健康の保持増進に向けた教育活動と組織体制について ○豊かな心を育てるために関係諸機関との連携した取組について		
指導助言者	庄井 良信（藤女子大学 人間生活学部 子ども教育学科 教授）		
運営責任者	渡辺 一生（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市立学校 校長（予定）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	心の健康のために子どもも大人も 学び続ける学校のあり方 ～生命（いのち）の安全教育を通して～	さいたま市立大久保東 小学校 養護教諭 森永 紅瑠実
	NO.2	保護者の視点から、本当に必要な きょうだい（Sibling）支援 ～川崎市医師会学校医部会と家族会共同調査～	川崎市医師会 学校医部会 佐々木 明德
	NO.3	「主体的に心の健康を育むことができる児童の育成」 ～系統的なカリキュラムと指導の工夫を通して～	広島市立祇園小学校 教諭 関 匠
	NO.4	子どもたちが主人公となる居場所創りと、対話 が繰り広げられる学校空間創りへの実践	京都市スクールカウンセ ラー・スーパーバイザー 阿部 昇
	NO.5	心の健康・児童生徒の豊かな心を育てる ための教育活動と支援の在り方	北九州市立大積小学校 北九州市立東郷中学校 学校医 香月きょう子

第4分科会【地域保健】

協議題	学校・家庭・地域の連携協働による学校保健活動の推進		
主旨	健やかな児童生徒の育成を目的とした学校・家庭・地域の効果的な連携の在り方について協議する。		
協議の視点	○学校・家庭・地域と関係諸機関の連携による 学校保健活動の推進について		
指導助言者	今野 洋子（北翔大学 教育文化学部 教育学科 教授）		
運営責任者	石井 貴司（札幌市学校保健会 事務局次長）		
司会者	札幌市立学校 校長（予定）		
口頭提言題 及び提言者	NO.1	横浜市内におけるCO ₂ モニターの管理と活用	横浜市薬剤師会 和田 野歩
	NO.2	学校保健委員会を中心とした 学校保健活動の実践 ～健康づくりで学校・家庭・地域をつなぐ～	熊本市立中緑小学校 養護教諭 松川 亜未
	NO.3	生きる力を育む委員会活動 ～学校保健委員会・生徒保健委員会を通して～	相模原市立中沢中学校 養護教諭 菊地 麻希 相模原市立若草中学校 養護教諭 土橋 麻貴
	NO.4	自分の健康に関心をもち、 主体的に健康生活を実践できる子どもの育成 ～心と体の体力アップの実践を通して～	岡山市立山南学園 養護教諭 谷川 憂真
	NO.5	札幌市学校保健会地域保健部会での協議から	札幌市立白楊小学校 教諭 中塚 宗太